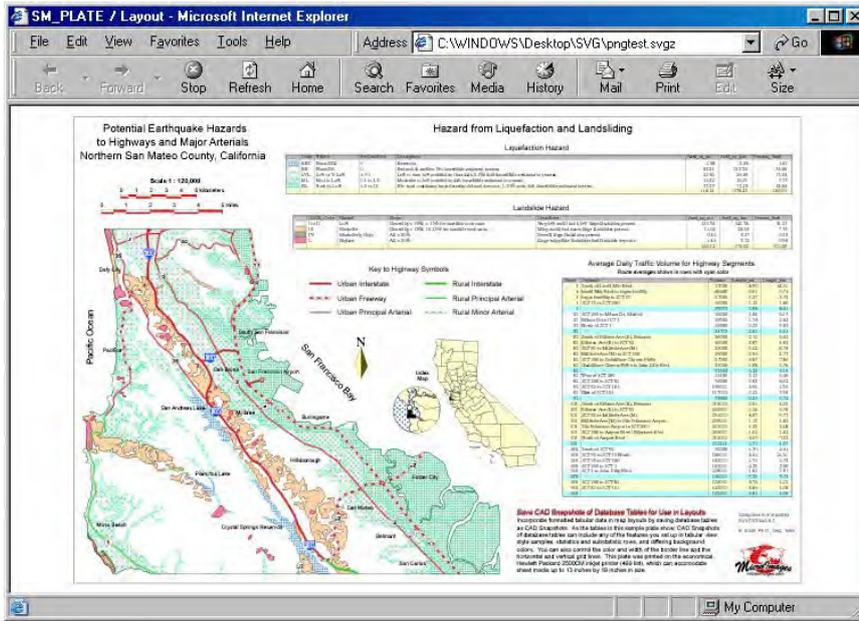


# Scalable Vector Graphics (SVG) の紹介

## TNTmips の「SVG への印刷」機能

**SVG とは？** SVG とは、新たに採用された、WWW コンソーシアム (W3C) 公認のオープンフォーマットです。動画のグラフィックスから非常に入り組んだ地図レイアウトに及ぶ「スマート」ドキュメントの格納・修正・伝送のためのフォーマットです。SVG による地図の中の図式は XML で表現されており、その中にフォントやラスターデータが埋め込まれています。この新しい強力な技術を使って、SVG 開発者達は、データ中心でグラフィカルな個人向け仕様の図式を基にし、新しい世代のウェブアプリケーションを作成出来ます。



この SVG ファイルは TNTmips の地図レイアウトから作成し、無料の Adobe SVG プラグインが入ったインターネットエクスプローラで表示しています。Windows では、.svg と .svgz のファイルタイプはインターネットエクスプローラに関連付けられており、ファイルをクリックすると、ブラウザが開きます。



**オープンな標準:** SVG は W3C によって管理されているので、民間企業は SVG に対して所有権を主張出来ません。各 SVG ファイルはこの公認の XML 拡張子で表わされています。いつでも SVG ファイルをテキストエディタや XML エディタ、描画プログラムに読み込んで、内容を変更することが出来ます。

**小さなファイルサイズ:** ネットワークやウェブ上での移動のために設計されたベクタファイルなので、SVG ファイルはコンパクトです。ラスターデータも埋め込むことが出来、圧縮した外部ファイルとしてリンクすることも出来ます。又、SVG ファイルに座標を与えることも可能です。

**アプリケーションの埋め込み:** SVG の仕様は強力なスクリプト言語であるジャバスクリプトにも対応しています。それらのスクリプトを SVG ファイルに埋め込むと、例えばウェブブラウザなどの SVG ファイルを使うプロダクトに表示やコントロール、解析機能を追加します。

以下のサイトからあなたのブラウザに合った最新の無料 SVG プラグインを手に入れることが出来ます。

<http://www.adobe.com/svg/viewer/install/>

```
<?xml version="1.0" ?>
<!DOCTYPE svg PUBLIC "-//W3C//DTD SVG 20001102//EN" "http://www.w3.org/TR/2000/CR-SVG-20001102/DTD/svg-20001102.dtd" [
<svg xmlns="http://www.w3.org/2000/svg" version="1.0" onload="InitContextMenu()" onmousedown="GetElement(
<defs>
<style type="text/css">
<![CDATA[
text { font-family:Times;font-size:8 }
path { stroke-linecap:butt; stroke-
.st0{stroke-width:0.850394;stroke- TNTmips によって作られた SVG コード fill:none;}
.st1{stroke:none;fill:rgb(255,255,255)}
.st2{stroke:none;fill:rgb(0,255,170)}
.st3{stroke-width:0.850394;stroke-linecap:round;stroke:rgb(0,255,170);fill:url(#VarDot2_0_255_170);}
.st4{stroke-linecap:round;stroke:rgb(0,255,170);fill:none;}
.st5{stroke-linecap:round;stroke:rgb(0,255,170);fill:url(#VarDot3_0_255_170);}
.st6{stroke-linecap:round;stroke:rgb(0,255,170);fill:url(#VarDot2_0_255_170);}
.st7{stroke-linecap:round;stroke:rgb(0,255,170);fill:url(#VarDot_0_255_170);}
```

TNTmips により作成される SVG ファイルは、無料の Adobe SVG プラグインを持つどのブラウザでもそのまま表示されます。また、レイヤの選択や地図属性のポップイン表示のようなカスタム機能を加えるために、独自の SVG コードを書くことも出来ます。